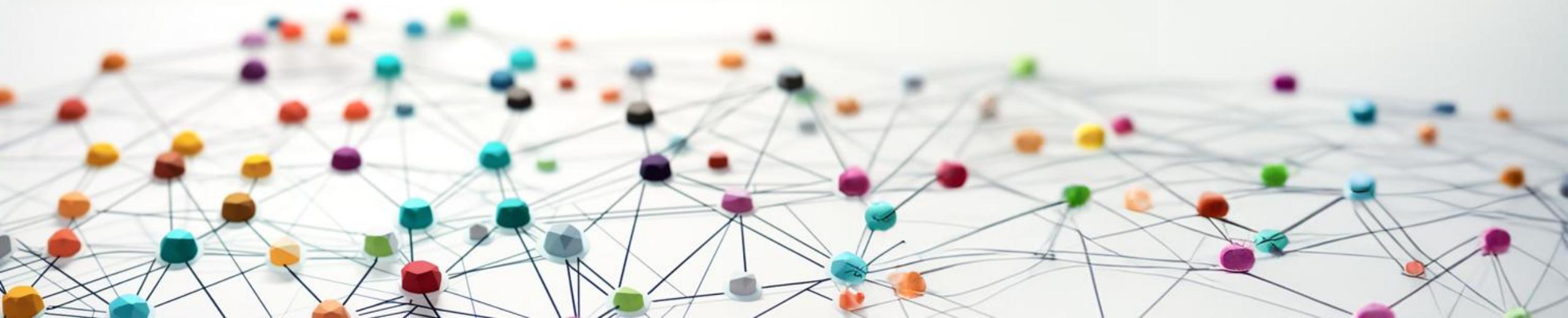


2026年3月期 第3四半期決算補足資料

2026/2/12

株式会社ピーバンドットコム

東証スタンダード / 名証メイン：証券コード：3559



目次

01 - 2026年3月期 第3四半期決算 概要

02 - 今後の成長戦略（中期経営計画の概要）

03 - 新たな成長ドメイン

04 - 株主還元について

EX - ご参考資料

01

2026年3月期
第3四半期決算 概要

利益率改善により、営業利益成長が加速

売上高成長率

+5.4%

前年同期比

売上総利益率

+2.2 pt

Profit Leverage ↗

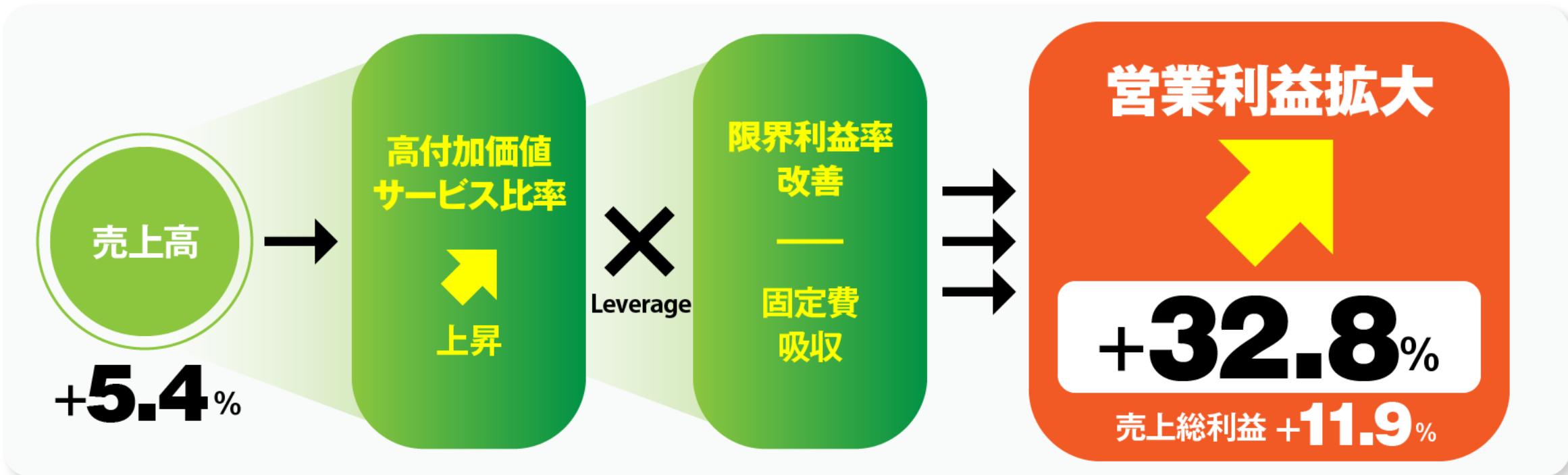
営業利益成長率

+32.8%

前年同期比

売上成長+5.4%に対し営業利益+32.8%

利益レバレッジの構造変化



売上成長に加え、高付加価値サービス比率の上昇と
固定費抑制が利益拡大を加速

業績サマリー

売上高

1,667 百万円

前年同期比 +**5.4%**

営業利益

121 百万円

▲ 前年同期比 +**32.8%**

経常利益

121 百万円

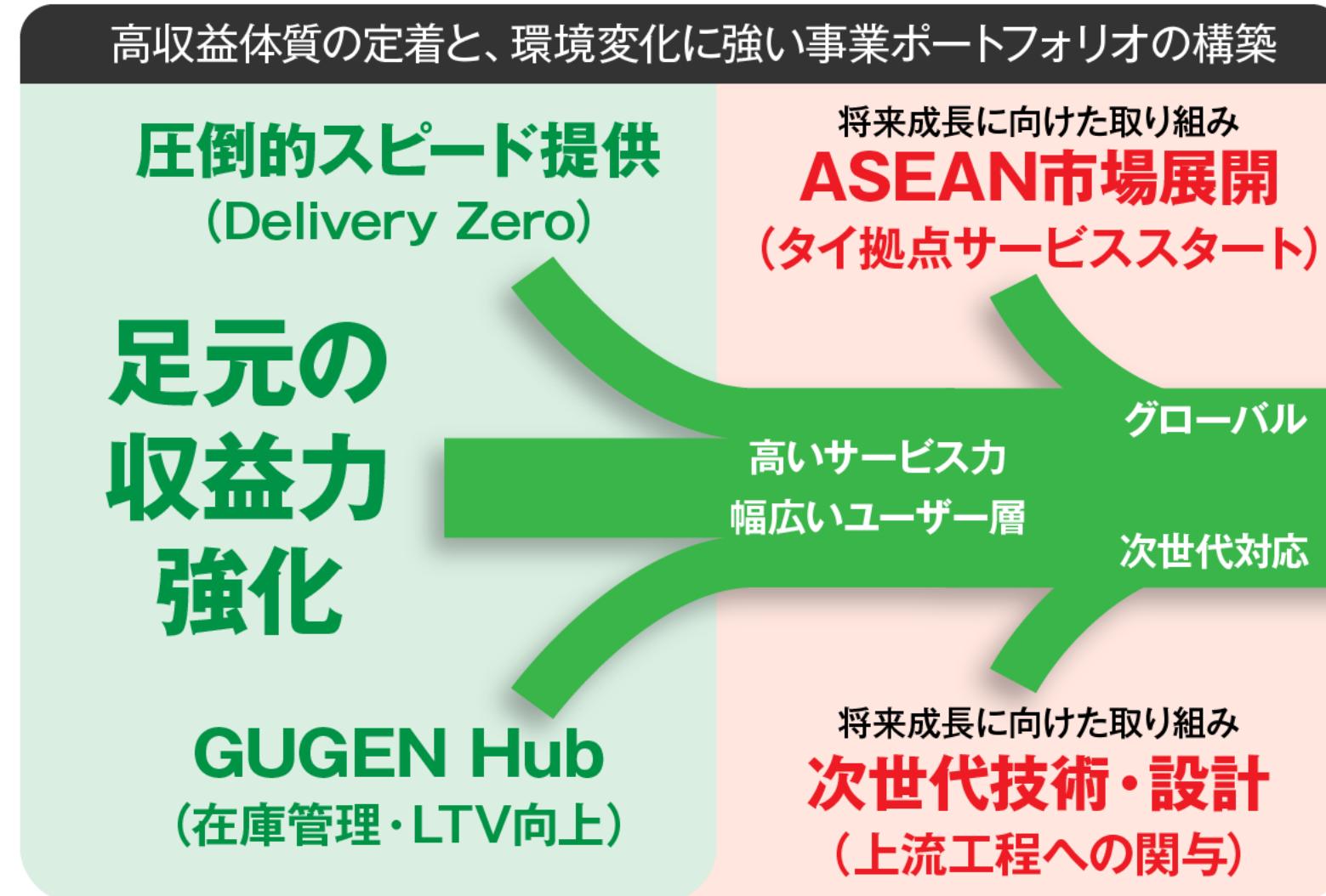
前年同期比 +**28.9%**

四半期純利益

83 百万円

前年同期比 +**31.6%**

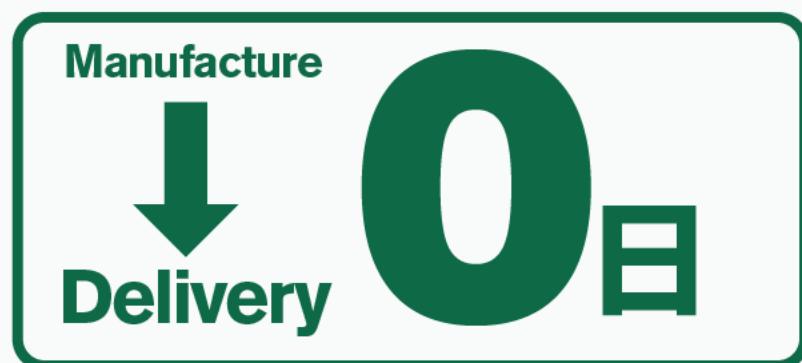
重点施策の全体像：足元の収益力強化と将来成長への布石



「時間」を価値に変える収益改善施策

製造完了日当日納品 開発・試作の短納期ニーズに対応

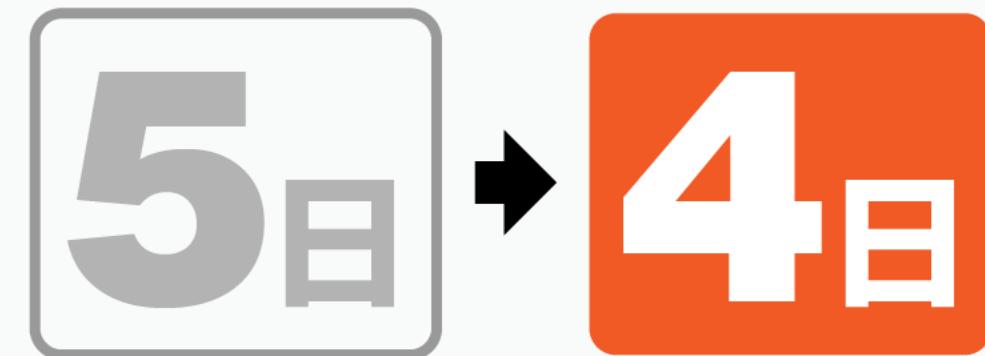
新設 デリバリーゼロコース



- ものづくりのラストワンマイルを短縮。
- 首都圏製造網と配送網の連携により実現

工程改善・稼働最適化

サービス納期短縮

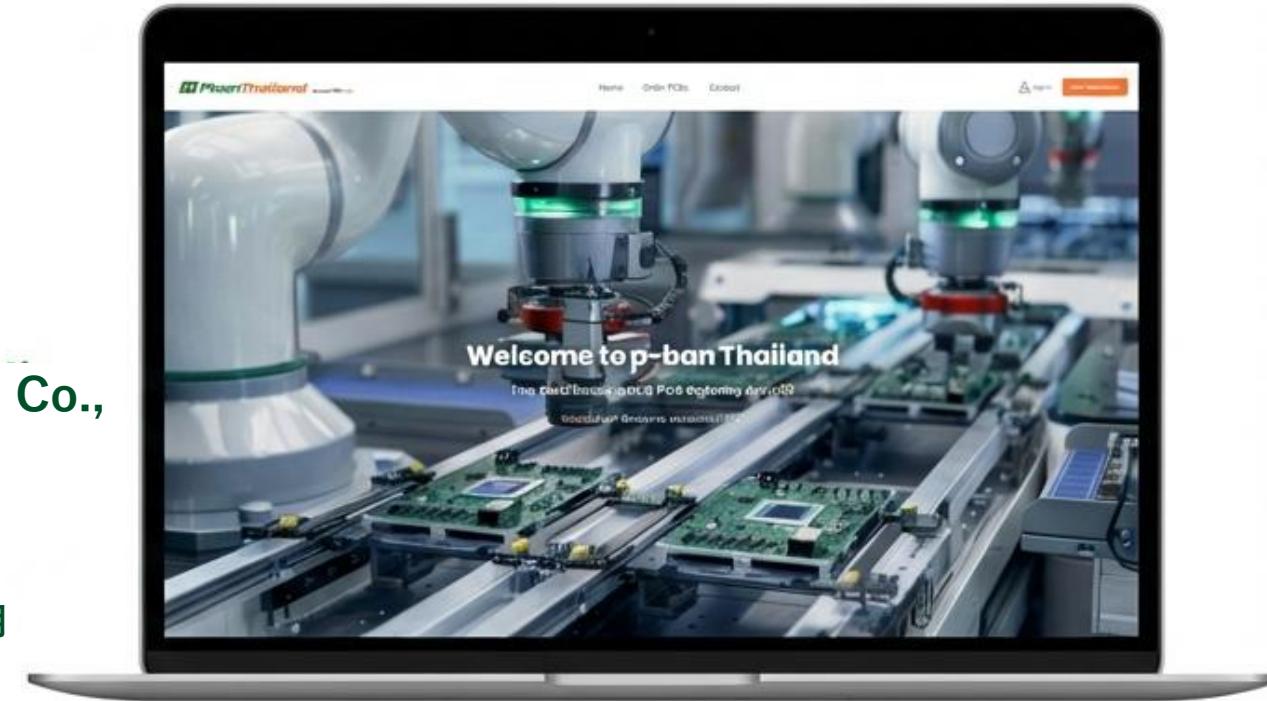
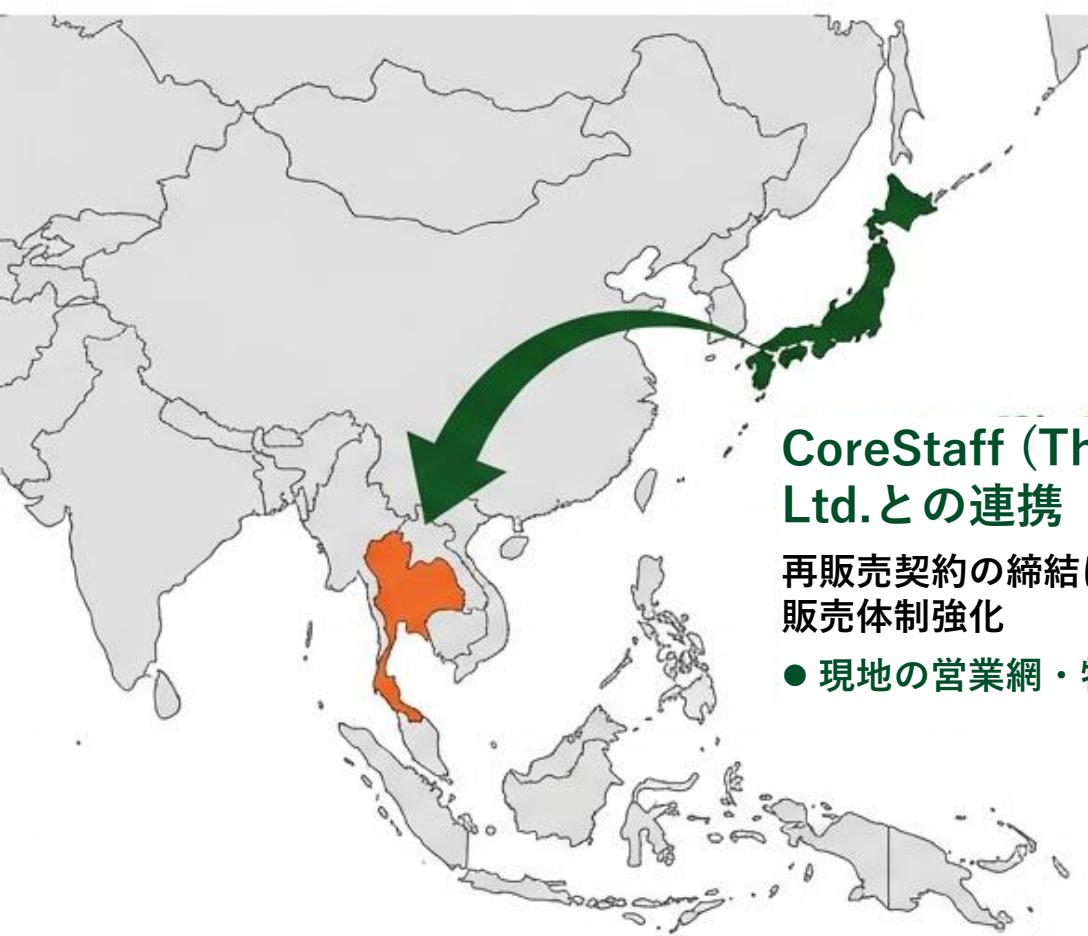


- リジッド基板（通常コース）5日→4日に
- 部品実装最大2日短縮

収益改善を仕組み化するサービス：GUGEN Hub(在庫管理)



収益基盤を海外へ展開する成長戦略：ASEAN（タイ）



タイ王国向けプリント基板通販サイト
「p-ban Thailand」を開設
The Most Reliable B2B PCB Ordering Service

開発・設計段階へ関与を広げる次世代成長戦略

Engineer Social Hub™

ローム株式会社運営プラットフォーム内に
情報発信ルームを開設



知見の発信、ブランドプレゼンスを向上

AI&EMC Technology Support

Quadcept社とのAI講習会／専門家による
EMCセミナー開催

Innovative EDA Solutions
Quadcept × 戸板.com ピーバンドットコム

ナレッジが導く

次世代ハードウェア設計

AI × 設計ノウハウの融合



設計段階からの関与による高付加価値化

02

今後の成長戦略 (中期経営計画の概要)

成長戦略を実行できる 事業基盤

体制

持続的成長を加速させる「両利きの経営」



既存事業の深化

中核事業である
プラットフォームの
継続的な強化と効率化

戸板.com
ピーバンドットコム

 S-GOK

プリント基板Eコマース

開発・量産支援サービス



新規事業の探索

事業創出のノウハウと
ネットワークを活用し、
新たな成長ドメインを開拓

強み

成長が続く脱炭素、自動車、半導体関連

常に市場をリードし続ける大手企業の要求に応え、
アイデアを素早くカタチにする弊社サービスの価値が高まっています。



脱炭素ソリューション

シムックスイニシアティブ株式会社
工場向け エネルギー
コントロールデバイス
P板.comの貢献



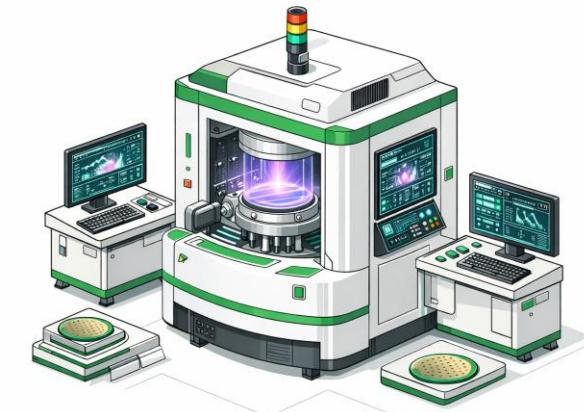
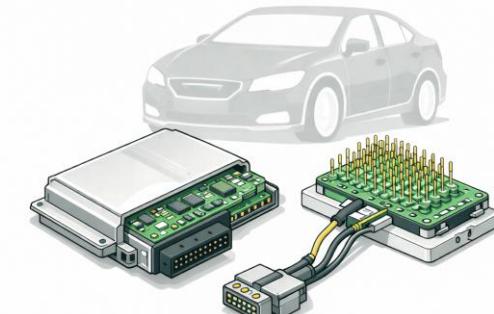
・試作開発から、数万台数の製品量産
まで一括で対応。長期に渡るパート
ナーシップを構築。

国内大手自動車部品メーカー (グローバルTier1)

世界中の自動車メーカーに幅広い
製品・システムを供給

P板.comの貢献

・突発的に発生する試作案件にも対応し、必
要なタイミングで基板を手配できる体制とし
て社内利用が拡大。



半導体製造装置メーカー

国内大手・世界トップクラス
プラズマエッチング装置の開発・製造
P板.comの貢献

・海外ECを使いにくい中、品質・機密面で
安心できる国内調達先として選ばれ、設計
ノウハウの保護にも寄与。

強み

宇宙開発の最前線で選ばれる信頼性

過酷な環境下での動作が求められる宇宙分野において、
民間企業から国立研究開発法人、大学研究機関まで幅広く採用されています。



民間商用衛星

株式会社アクセルスペース
(AXELSPACE Corporation)
WNISAT-1



P板.comの貢献
通信系基板等に採用。コスト削減と短納期で、民間宇宙開発のスピード感あるプロジェクト進行を支援。

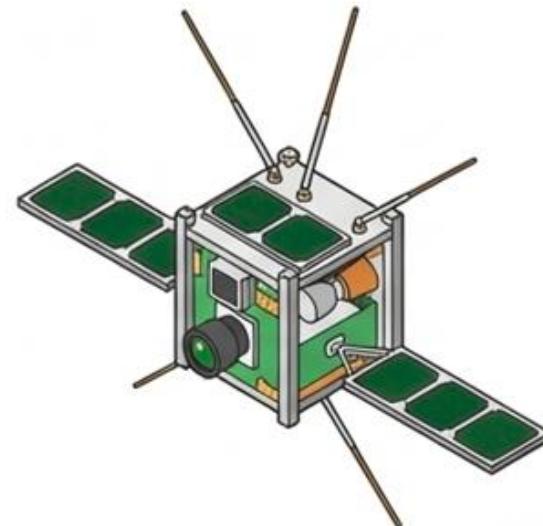


JAXA

宇宙航空研究開発機構
(Japan Aerospace Exploration Agency) Int-Ball (きぼう船内ドローン)

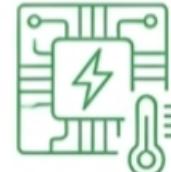


P板.comの貢献
超小型三軸姿勢制御モジュール用基板を製造。
1辺 30mm 級の高密度実装を実現し、ドローンの小型化に貢献。



大学研究機関

東京工業大学 松永研究室
TSUBAME
P板.comの貢献



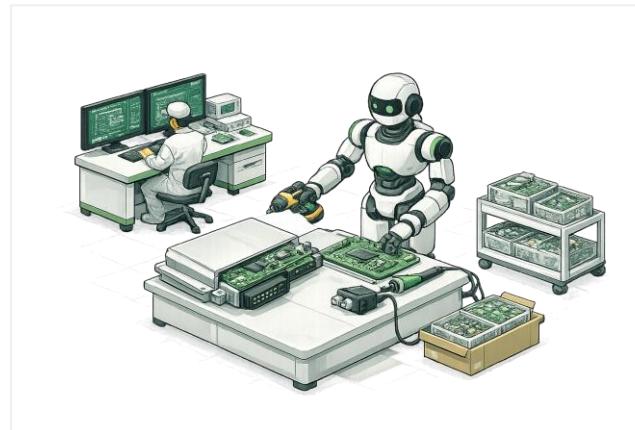
電源系基板の製造・実装。高電圧・放熱対策など厳しい宇宙環境基準をクリアする品質を韶共。

強み

過酷環境と医療領域に耐える品質

深海や医療といった、極めて高い信頼性が求められる最先端分野。

P板.comは、製品開発において、確かな品質と手厚いサポート体制で技術革新を支えます。

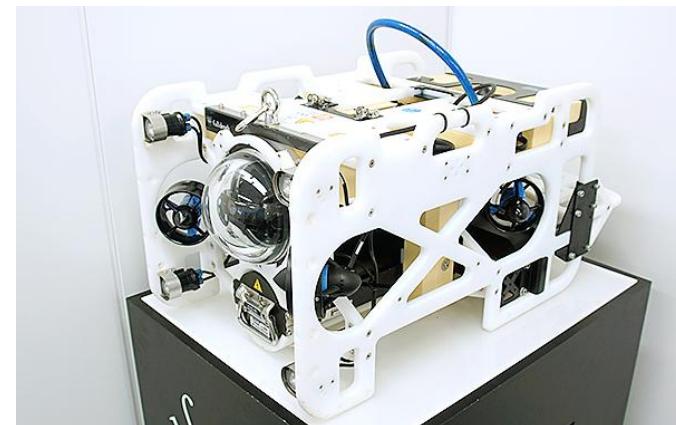


協働・ヒト型ロボット メーカー

国内ロボティクスのパイオニア

P板.comの貢献

- ・試作→製品化で必須となる材料証明ニーズに対し、調達～在庫管理（余剰部品含む）まで手間なく管理できる。



深海探索ドローン

株式会社 Full Depth
産業用水中ドローン
「DiveUnit300」

P板.comの貢献

- ・過酷な環境で動作する品質：水深300mという過酷な環境で稼働する産業用ドローンに求められる、高い信頼性を備えた基板を製造。



医療用BMI（ブレインマシンイ ンターフェース）

株式会社LIFESCAPES

脳科学×AI技術で重度麻痺を克服するデ
バイス

P板.comの貢献

- ・医療機器認証を支える納期遵守：製品販売の遅れに直結する認証機関の試験スケジュールを厳守。確実に信頼を獲得。

市場規模 事業環境

メガトレンドが追い風

2037年に向け、市場は1.8倍へ拡大が予測されています。

主な成長ドライバー

 EV (電気自動車)

 脱炭素・再生可能エネルギー

 AI・DX

 宇宙開発

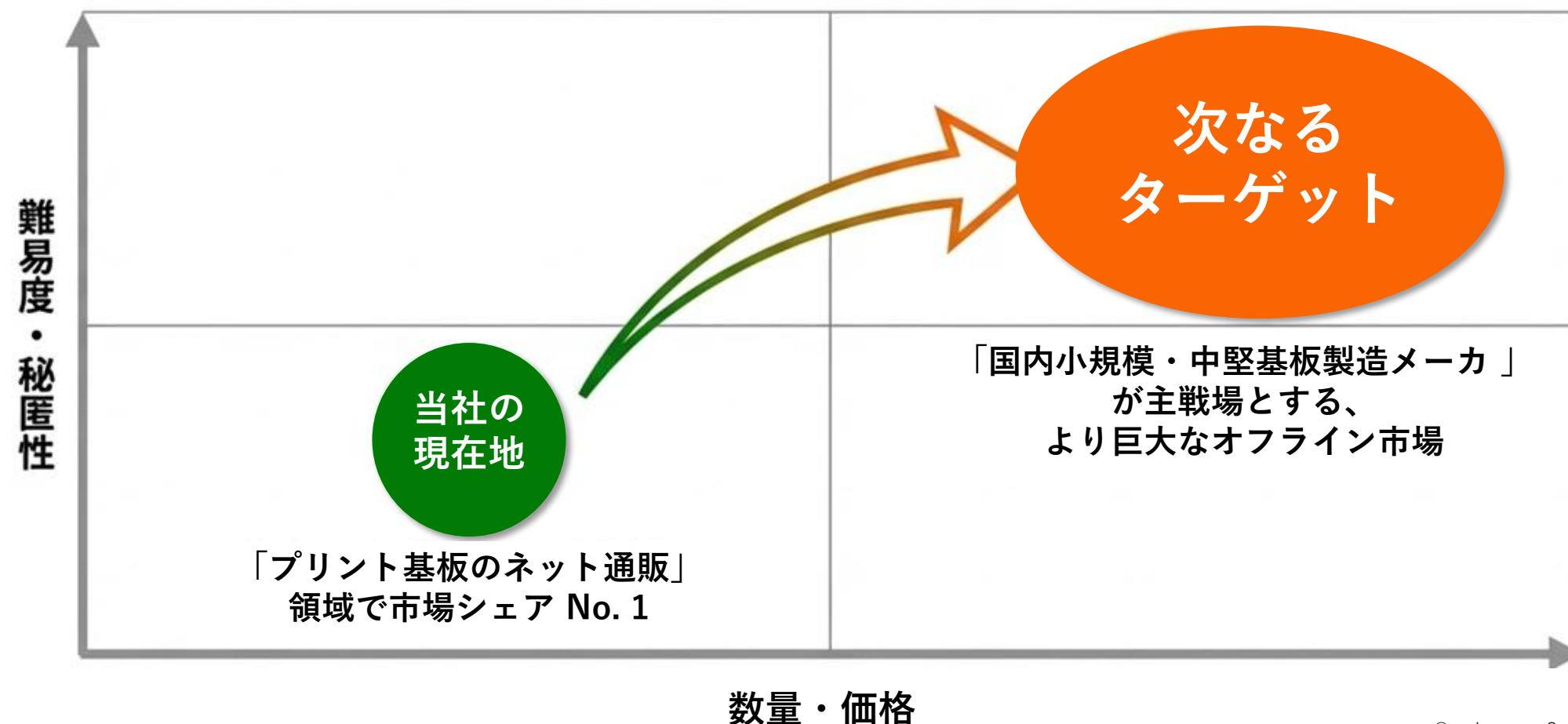
 ロボット・ドローン

1.8倍へ拡大



AI、ロボット、クルマなど、社会の進化を支える基盤需要は、
今後ますます加速していきます。

ネット通販市場で確固たる地位を築きつつ、今後は従来型の取引が中心の、
より大きな市場への展開を加速します。

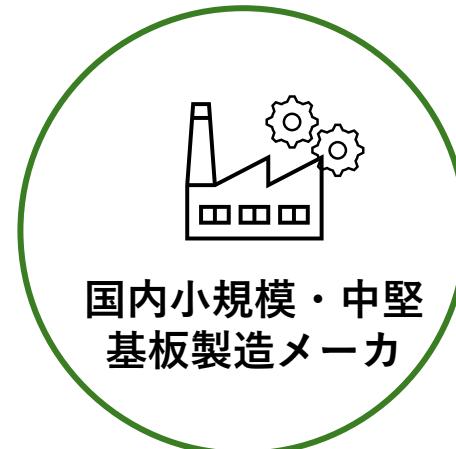


成長戦略

戦略1

DXを武器に、中堅・大手企業の商慣習の壁を超える

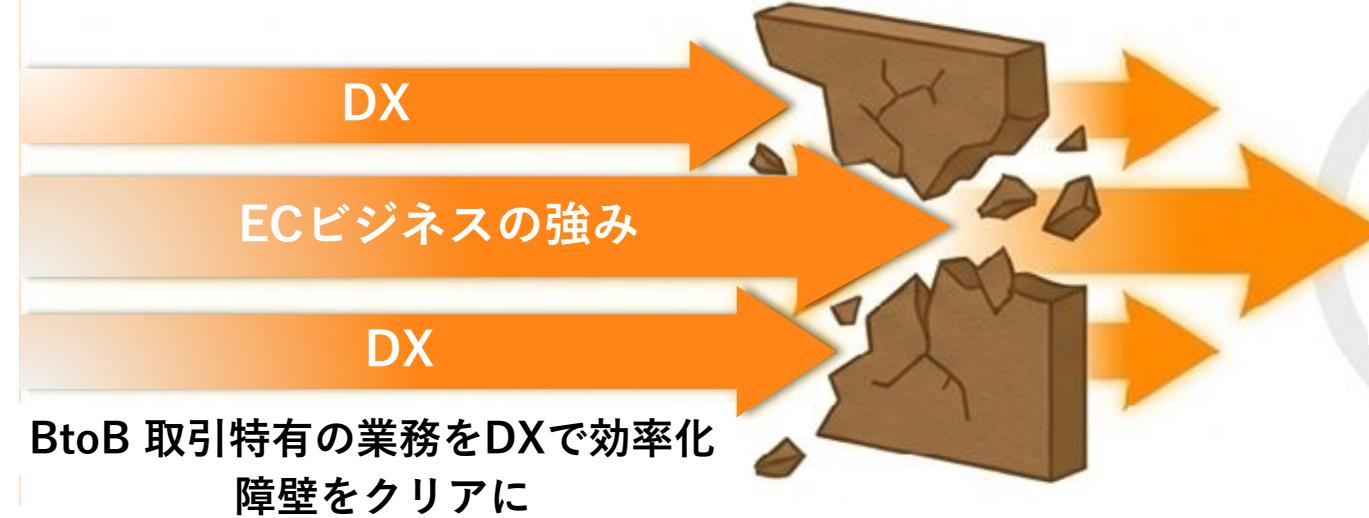
日本企業特有の取引プロセスをDXで効率化することで、これまで参入障壁となっていた
中堅・大手企業への浸透を図ります。



国内小規模・中堅
基板製造メーカー



中堅大手企業

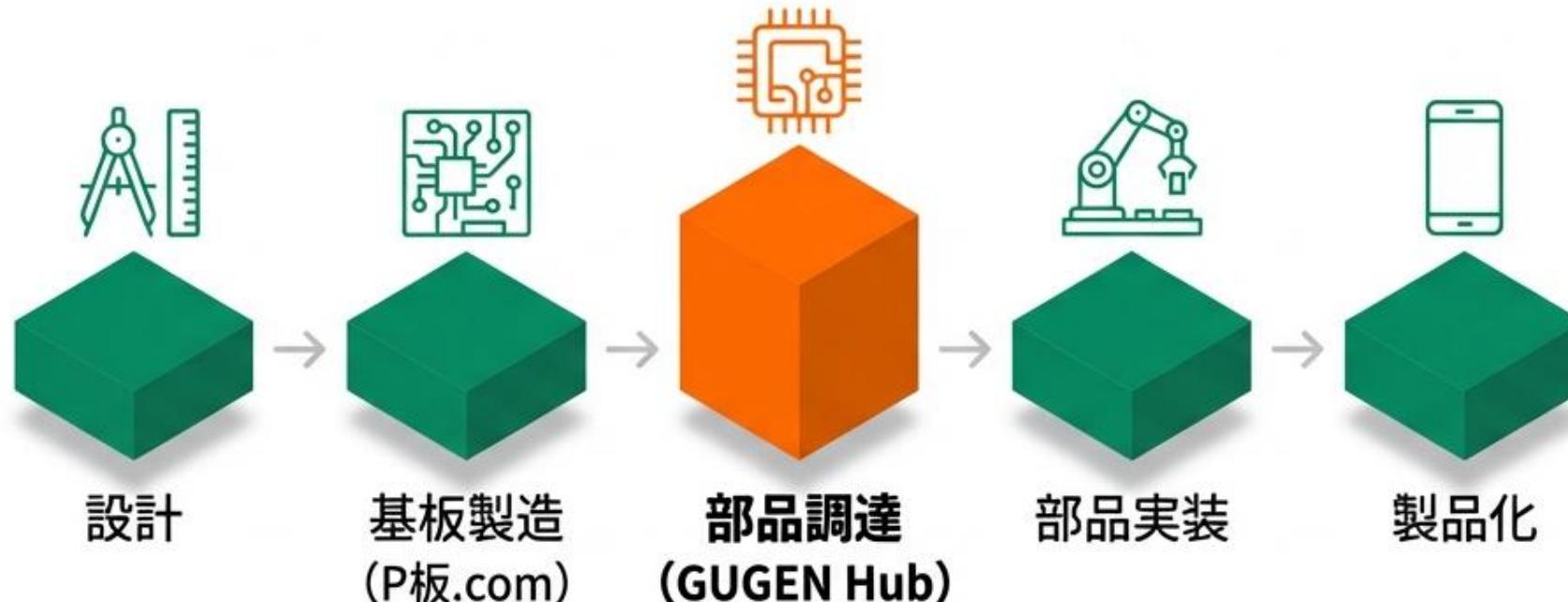


中堅大手企業

戦略2

基板の次は、部品。必然の成長戦略

基板を作るお客様は、その基板に載せる電子部品を必ず購入します。
つまり、基板製造と部品調達は需要として100%セットで発生する市場です。



圧倒的な顧客基盤

基板 EC 国内 No. 1 として築いた3万社超の顧客基盤が、部品調達サービスの強力な入口となります。

戦略2

部品調達の利用率15%へ。

売上4億円規模の第2の成長エンジンへ進化します。

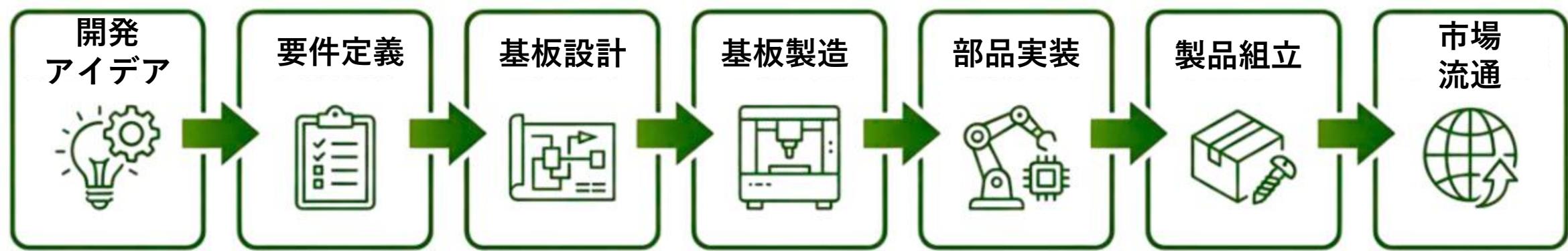


基板EC No.1 の強みを横展開し、顧客基盤に眠る潜在需要を掘り起こすことで、
電子部品調達を第二の柱へと成長させます。

アイデアを、カタチ（製品）に。



手 モノづくりの“困った”をカバー



エンジニアのアイデアを具現化し、一要件定義から市場流通までを伴走支援。
単なる製造受注から、高付加価値な開発パートナーへと進化する。

03

新たな成長ドメイン

GUGEN Hub

20年の実績を礎に**製造業**の未来インフラ
「GUGEN Hub」を構築する。

GUGEN Hub :日本の電子製造業を再定義する開発 OS

変革

50年に一度の歴史的潮流が巨大な市場機会を創出

開発は「個社完結」から
エコシステム内分業へ移行。



①製造業国内回帰

ものづくりの拠点が日本に戻り、
円安と地政学リスクを背景に、製
造業の工場国内回帰が本格化。



②政府研究開発投資30兆円

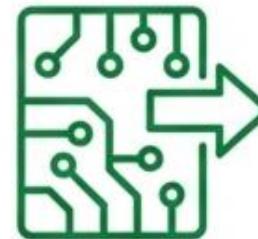
5年間で30兆円（官民合わせて120兆
円）の超大型投資により、日本の技術革
新はかつてない加速局面へ。

出展：第6期科学技術・イノベーション基本計画



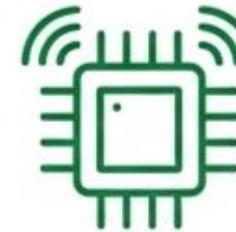
③世界標準「共創エコシステム」への転換

無秩序なオープンではなく、信頼と規律に基づき設計された共創へ。



設計との連携

CAD データを直接インポートし、
製造可能な部品リストを AI 自動生成。



部品調達の自動化

最適な価格と納期の部品を、国内外のサプライヤー網からワンクリックで発注。



製造のオンデマンド化

基板製造から実装まで、最適な工場をリアルタイムにマッチング。



設計情報、部材管理、製造データを一気通貫で管理し、製造データを企業の「資産」へ変える。
ハードウェア開発を、ソフトウェア開発のように変革する。

変革

自己成長するプラットフォーム（フライホイール効果）



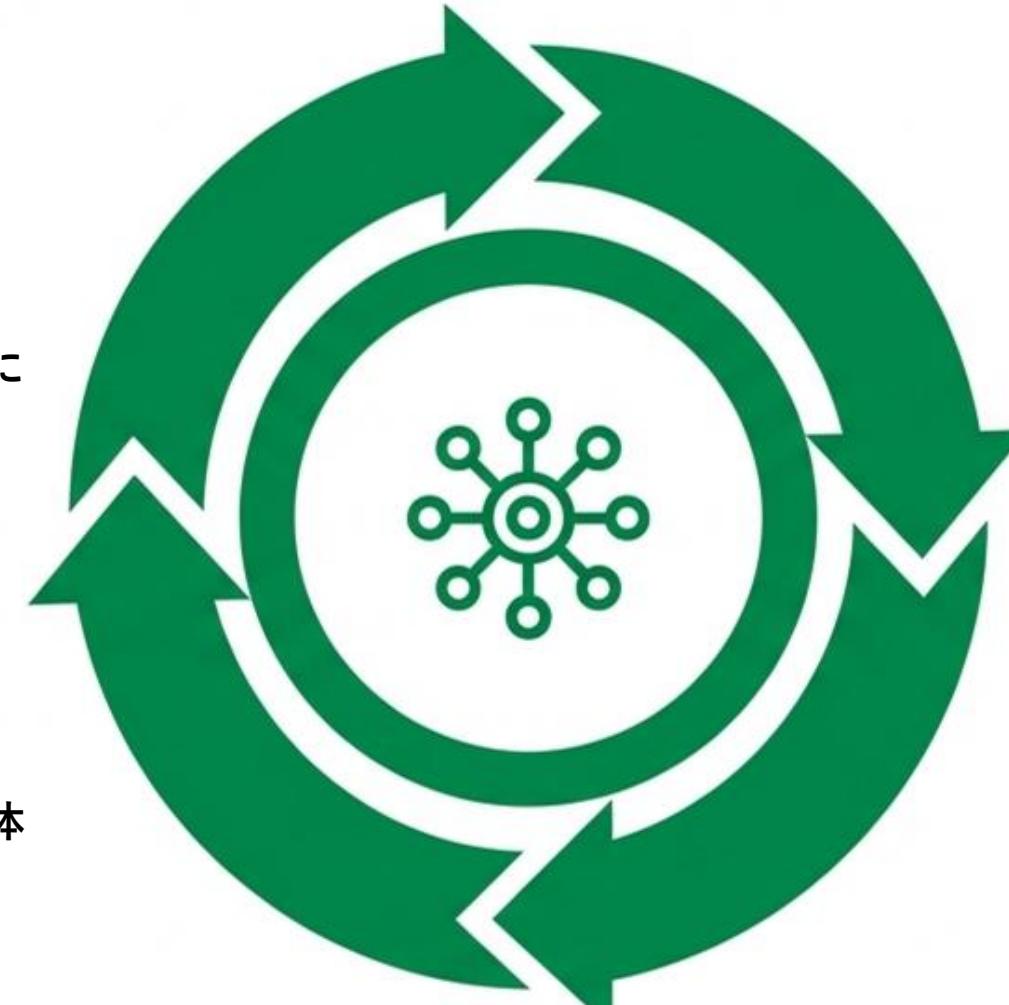
ユーザー増加

利用者と製造パートナーが増え、データの量と質が向上し、さらに多くのユーザーを惹きつける。



ユーザー体験向上

より速く、安く、高品質な調達体験が実現する。



データ蓄積

あらゆる取引(設計、部品、製造)が構造化データとして蓄積される。



AIによる最適化

蓄積されたデータをAIが学習し、調達の精度と速度を継続的に向上。

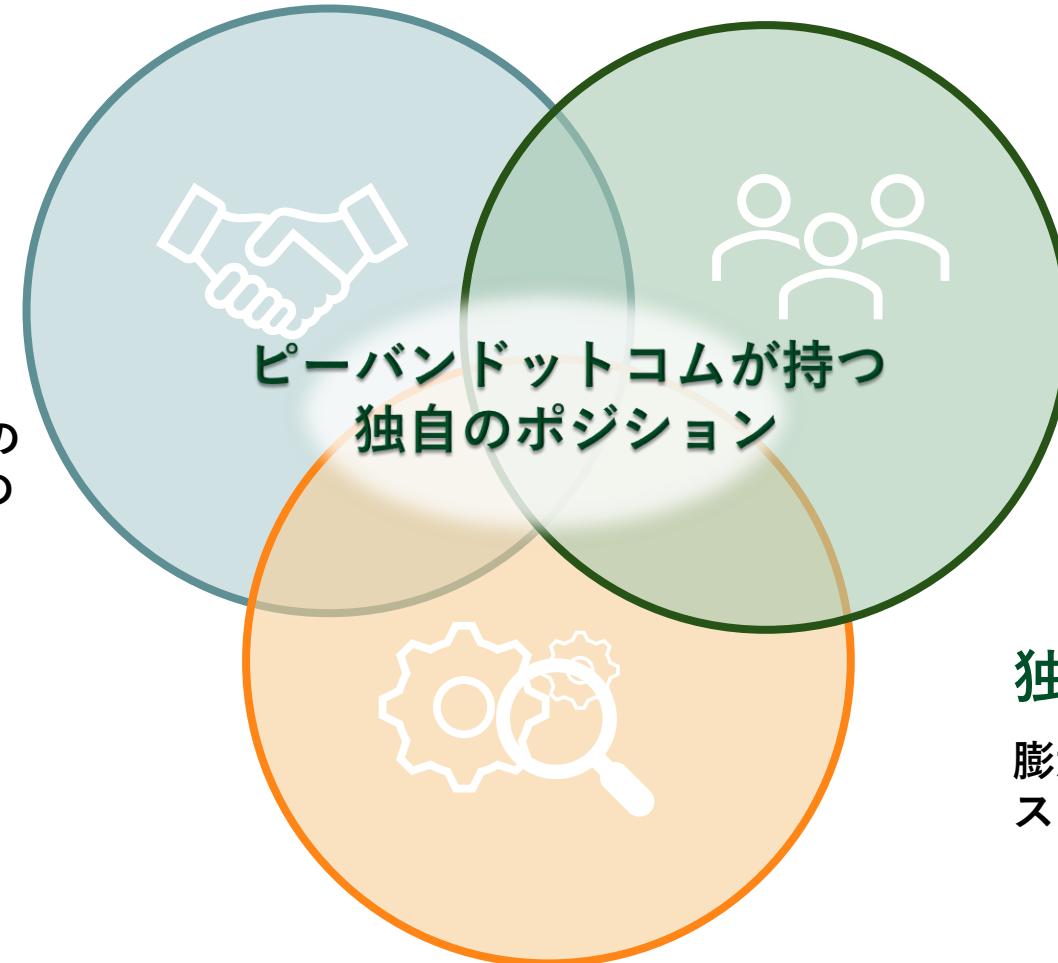
GUGEN Hubは、取引データが増えるほどAIを研ぎ澄まし、利用者の増加がそのまま「資産成長」に直結するエコシステムとなる。

変革

なぜ、我々だけがこの「OS」になれるのか

サプライヤーネットワーク

創業20年、国内外を網羅。ものづくりの未来をつなぐ、信頼のサプライヤーネットワーク。



3つがつながることで、当社だけが持てる“参入障壁”が生まれ、競争優位を形成する。

開発者コミュニティ (取引実績 3万社超)

幅広い業界のエンジニアが利用する国内でも有数の開発者、コミュニティを形成。

独自のポジションとアルゴリズム

膨大な取引データから品質・納期・コストを最適化するアルゴリズム。

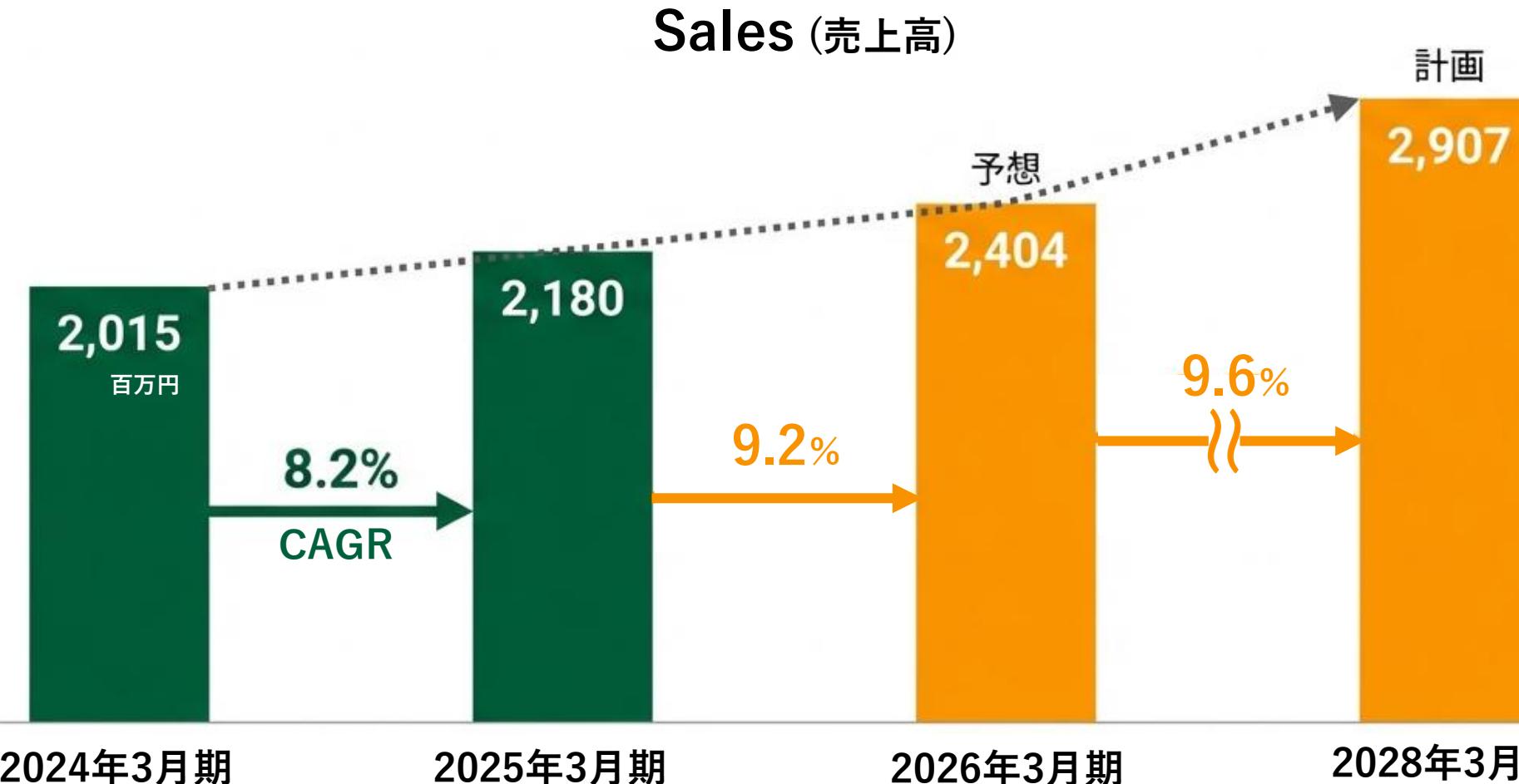
04

中期経営計画と株主還元 (堅実な成長と株主価値の向上に向けて)

計画

中期経営計画に基づく堅実な売上高の拡大

計画的な成長戦略により、売上高は着実に右肩上がりで推移

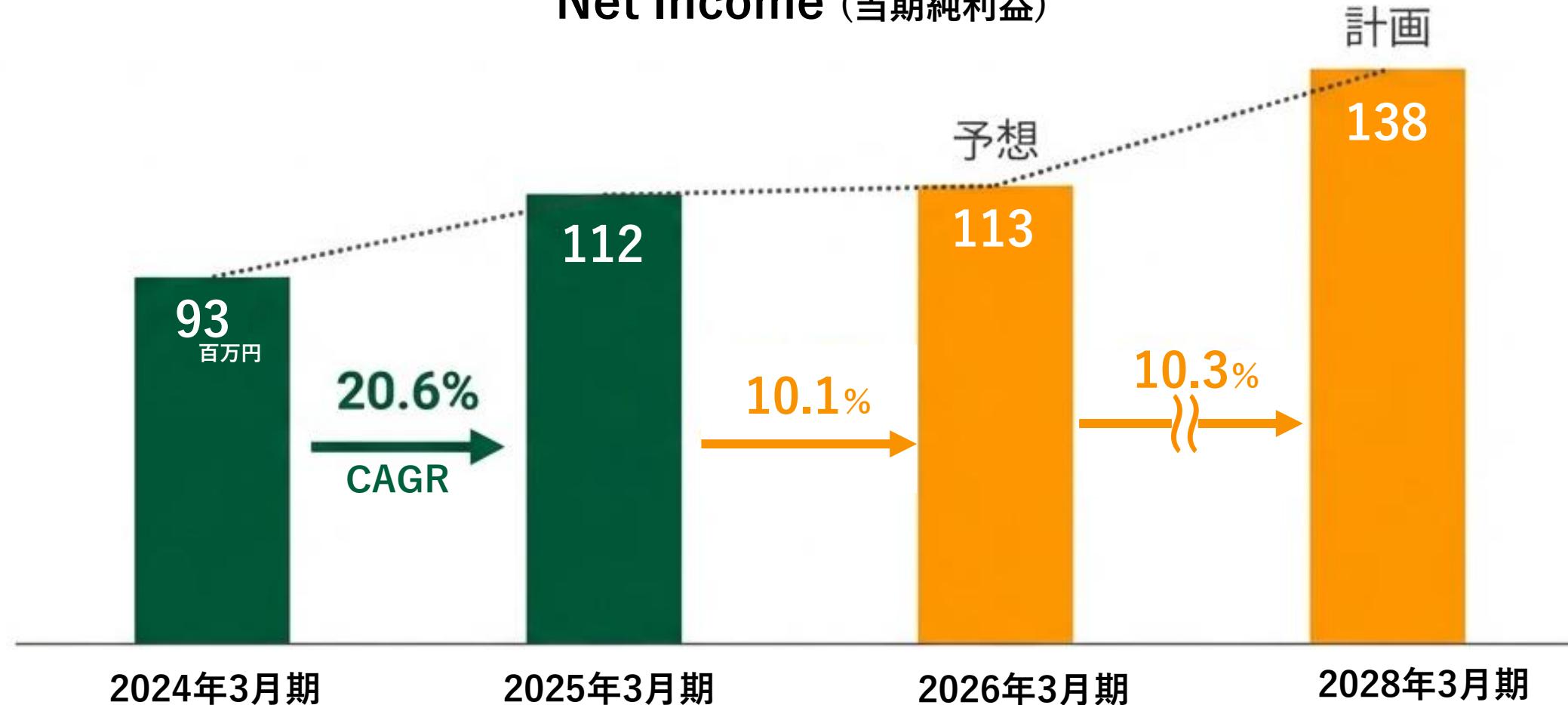


計画

収益性の向上と当期純利益の推移

収益の継続的な拡大が株主価値の向上に直結

Net Income (当期純利益)



還元策

株主価値向上に向けた実行策と還元方針



中期営計画の推進による
確実な収益拡大



安定的かつ継続的な
株主還元



M & A による
事業拡大



コーポレートガバナンス
の強化



IRの積極展開による
株主・投資家理解の促進

配当方針・直近実績

配当性向 **30 %以上** の継続を目指

参考

25/3 期期末配当：1株 10円 (前年差+2円)

「成長投資と株主還元のバランスを取りつつ、安定還元と増配を志向」

資本効率目標の達成と継続的還元により、資本コストを上回る成長と企業価値向上を実現する

ご参考資料

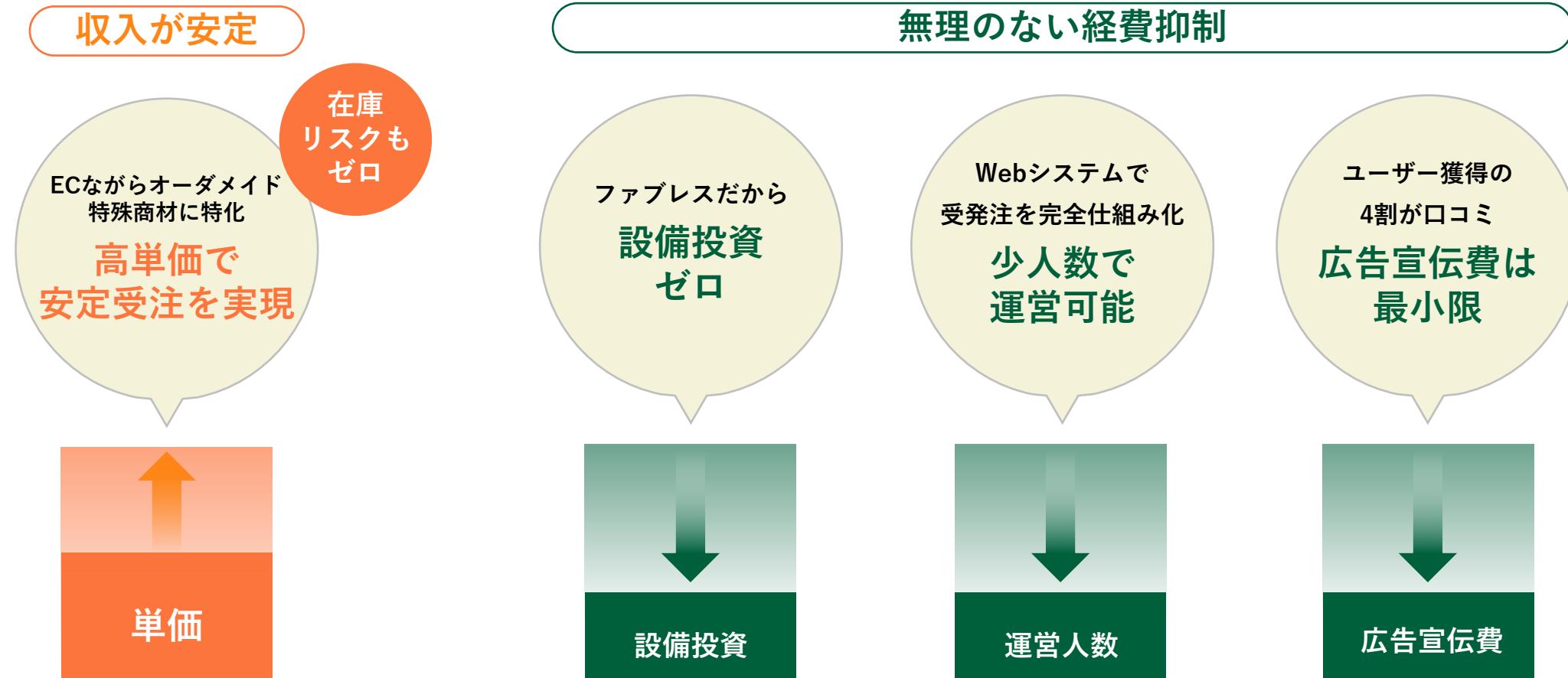
メインサービス

事業の軸は、プリント基板のネット通販「P板.com（ピーバンドットコム）」
プリント基板のネット通販市場で国内シェアNo.1を獲得している。



ビジネスモデルの特徴

プリント基板のネット通販で圧倒的シェアを持つ「P板.com」の高い収益性を実現する4つの特徴



ファブレス：工場を所有せずに製造業としての活動を行う企業を指す造語およびビジネスモデル

© p-ban.com Corp. All rights reserved.

資本コストおよび株価を意識した経営へ向けて

売上、利益とともに重視し適正な利益構造へ。資本コストと株価を意識した経営を行っていく。

経営指標

ROE 12.5%～15.0%

エクイティスプレッド 2.5%



中期経営計画推進による確実な収益拡大



M&Aによる事業拡大



安定的かつ継続的な株主還元



コーポレートガバナンスの強化



IRの積極展開による株主・投資家理解の促進

弊社IRに関する情報やご質問は
下記IRページよりお願いします。

ピーバン IR



<https://www.p-ban.com/corporate/ir/>

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。

さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。